

※ ◇全館共通項目は、中央図書館を含めた中心館が共通の意識を持って取り組んだ事業。 ◆館の重点評価項目は、新津図書館が重点的に取り組んだ事業。

中心図書館名： 新津図書館

区分	事業名	事業概要	実施結果	評価	
				自己評価	外部評価
課題解決型図書館	◇全館共通評価項目 ・システム統合によるオンライン化の実施	・10月に新津図書館のオンライン化を実施する。	・10月13日新津図書館オンライン化	・当初予定通りオンライン化が完了し、効果として貸出冊数・予約冊数が増加した。	○予定通りオンライン化が進んだことは評価できます。 ○他館から借りた資料を返却できるようになり、利用者の要望に応えられたと思います。 ○オンライン化の効果として貸出・予約数が増加したことは良いことだと思います。 ○オンライン化により、必要な資料がすぐに取り寄られるようになり、大変便利になったと感じています。
	◆館の重点評価項目 ・荻川、金津地区図書室のシステムへの組み込み	・荻川、金津地区図書室は新津図書館とすでにオンラインでつながっているため例外的にシステムに組み込む。	・10月13日予定通りオンライン化	・AV資料の取り扱いが出来ないなど、サービスに一部制限があるが、他の図書館に準ずるサービスが開始出来た。両地区図書室とも貸出冊数・予約冊数が増加した。	○小須戸地区図書室とのオンライン化を早期に実現して欲しい。 ○荻川・金津地区図書室が、図書館並みにサービスが向上したことを評価します。 ○荻川地区図書室は児童書が充実したように思います。 ○DVD等の視聴覚資料や大型紙芝居等も収集し、貸し出してほしいと思います。
分権型図書館	◇全館共通評価項目 ・地域資料の収集	・各区を代表する人物・自然風土・産業等の地域コレクションの形成と展示を実施する。 ・新津図書館においては鉄道、石油関係に力を入れる。	・鉄道関係の新刊を積極的に収集し、10月の「鉄道の日」に合わせて2カ月間企画展示を行った。	・新津は鉄道の町ということで以前から力をいれているが、一般的な鉄道関係書だけではなく地元の歴史や人と関連付けた展示や、事業の企画を考えていきたい。	○鉄道資料館を新津駅付近に移設の動きもあり、鉄道関係資料等に力を入れさらなる充実を希望します。 ○新津図書館だけでなく、地区図書室で収集した方が良い物を検討して欲しい。 ○地域の特性を活かした企画展示はとても良く、評価しています。地域の活性化と貸出の増加につながることを期待します。 ○企画展示に力を注ぐと同時に、広報も充実させて欲しい。 ○企画が住民に伝わらない部分があるため、その点を改善して欲しい。
	◆館の重点評価項目 ・未登録郷土行政資料の受入整理	・システム統合に合わせ今まで未登録だった郷土行政資料約7,000冊を受入整理する。	・電算上のデータ処理はスムーズに進行したが、書架への資料配置は一部に止まる。	・既に配置されている資料の中へ組み込む作業が予想外に時間がかかっている。23年度いっぱいかかる見込みである。	○資料を手にとって見ることが出来るのは図書館の魅力のひとつなので、書架への資料配置作業を早めに進めて欲しい。 ○膨大な資料が、よく整理されていることを評価している。平成23年度も、引き続き作業することと思うが、人的支援・配置を検討して欲しい。 ○新図書館では見やすいコーナー配置を考え、若い人にも興味をもってもらおうよう努力して欲しい。
学・社・民融合型図書館	◇全館共通評価項目 ・ブックスタート実施計画の作成	・H23年度からの実施に向けて、推進委員会で策定された基本方針に基づき、各区の実施計画を作成する。	基本方針に基づいて実施計画を作成できた。	・秋葉区は会場等、施設の面で恵まれておりスムーズに計画が作成できた。	○これからの状況を見守りたい。成果は3年から5年の長い時間の中で評価したいと思います。 ○ブックスタートをスムーズに開始するため、適切な実施計画を作成したことは評価します。 ○新事業のための計画が順調に進められたことを評価します。 ○市報などにより周知され、よいブックスタート事業が開始できたことを評価します。
	◆館の重点評価項目 ・ブックスタート23年度の実施へ向けて秋葉区実行委員会の設立	・22年度秋より実行委員会を設立し、秋葉区の実施計画を策定する。	・実行委員会を2回開催し、秋葉区の実施計画を策定した。	・関係課・関連団体・ボランティアとの連携により、予定通り策定出来た。	○早い段階から連携してきたことにより、協力体制がうまくいったと評価します。 ○ブックスタートの追跡調査を行って欲しい。 ○具体的に目で読んでもらい、母親がどのようによみかせを行ったらよいか分かりやすく、実施内容は素晴らしいと評価します。
パートナーシップ型図書館	◇全館共通評価項目 ・共催事業の実施	・市民との協働をいっそう推進するため、ボランティア・教育機関や民間団体と連携して事業を行う。	・季節に合わせてよみかせボランティアグループ、手作り絵本サークルと子ども向け事業を行った。	・グループとの連絡・意思の疎通は前進した。今後一層進めていく。	○ボランティアの資質向上が大切で、他館のボランティアとの交流なども活動の刺激になると思います。 ○連絡・意思疎通が前進したことはよいことだと評価します。 ○子ども向けのボランティアグループとの共催は評価します。一般向けの事業も共催して欲しい。 ○対象が幼児にかたよりがちなところがある為、学生などをボランティアに組み込んだ事業の実施を検討して欲しい。
	◆館の重点評価項目 ・図書館協議会との連携	・協議会での意見を館運営にフィードバックするしくみを構築する。	・年2回の協議会で出た意見・質問に対し、次回に回答、対案を提示する。	・たまたま出てきた質問・意見に答えるだけでなく、図書館側から計画・方針等を詳しく説明し、提言をいただくことが必要。	○館長の諮問に応ずるとともに委員個々の建設的な意見を今後も提言したいと思います。 ○質問・意見に対する図書館の対応を評価します。 ○協議会委員の資質向上のため、図書館見学・説明会等の実施を検討して欲しい。 ○協議会としての機能が十分なのか、質問・意見を述べるだけでなく、図書館のプランに向けての協力を具体化していきたい。